

自動運転バスのレベル 4 実装に向けて、協議会を設立しました！

都市部における自動運転バスの実装を目指して

川崎市では、深刻化する運転手不足の影響などから、路線バスの減便が相次いでおり、市民生活への影響や都市の利便性が著しく低下する懸念を抱えていることを踏まえ、持続可能な地域交通環境の形成に向け、都市部における自動運転バスの実装を目指してまいります。

この度、令和 6（2024）年 4 月 5 日（金）に、自動運転の実装に向けた取組を多様な主体との連携・共創により推進するため、「川崎市自動運転実装推進協議会」（以下、協議会）を設立しましたので、お知らせします。

※レベル 4：自動運転化レベルの定義において、システムが全ての動的運転タスク及び作動継続が困難な場合への応答を限定領域において実行するもの（国土交通省：自動運転車の安全技術ガイドライン引用）

1 協議会構成員

構成員	代表者	住所	主な役割
川崎市	市長 福田 紀彦 みくだ のりひこ	川崎市川崎区宮本町 1	事業主体
川崎鶴見臨港バス株式会社	取締役社長 野村 正人 のむら まさひと	川崎市川崎区中瀬 3-21-6	運行事業者
A-drive 株式会社	代表取締役社長 岡部 定勝 おかべ さだかつ	横浜市都筑区中川 1-4-1 ハウスクエア横浜 301 号	自動運転バス運行支援
アイサンテクノロジー株式会社	代表取締役社長 加藤 淳 かとう じゅん	名古屋市中区錦 3-7-14 ATビル	三次元地図作成
株式会社京三製作所	代表取締役社長 國澤 良治 くにさわ りょうじ	横浜市鶴見区平安町 2-29-1	信号協調システム
株式会社ティアフォー	代表取締役社長 加藤 眞平 かとう しんぺい	名古屋市中村区名駅 1-1-3	車両開発
損害保険ジャパン株式会社	代表取締役社長 石川 耕治 いしかわ こうじ	新宿区西新宿 1-26-1	リスクアセスメント

※協議会は、会長を川崎市まちづくり局長、副会長を川崎鶴見臨港バス担当役員が担います。

2 協議会所掌事項

- （1）自動運転の実装に向けた取組に関すること。
- （2）その他協議会の目的を達成するために必要なこと。

3 備考

本取組における具体的な走行ルートや走行期間などについては、別途本年夏頃にお知らせする予定です。

川崎市自動運転実装推進協議会設立式



写真上段左より

株式会社ティアフォー VICE PRESIDENT 岡崎 慎一郎
株式会社京三製作所 常務執行役員 交通機器事業部長 荒井 正人
損害保険ジャパン株式会社 リテール商品業務部リーダー 島野 陽介

写真下段左より

A-Drive 株式会社 代表取締役社長 岡部 定勝
川崎鶴見臨港バス株式会社 常務取締役 鬼頭 恒寛
川崎市まちづくり局 局長 宮崎 伸哉
アイサンテクノロジー株式会社 取締役モビリティ事業本部本部長 佐藤 直人

問合せ先
川崎市まちづくり局交通政策室 藤島
電話 044 - 200 - 2762